



平成29年度

# 事業計画書



社会福祉法人草津市社会福祉協議会

# 目 次

1. 基本方針	.....	2
2. 重点事業	.....	3
3. 事業計画	.....	4～12
(1) 地域福祉活動の周知・啓発	.....	4
(2) 地域福祉力の向上	.....	5～7
(3) ボランティア活動の充実と 住民参加の仕組みづくり	.....	7～8
(4) 住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり .....	.....	8～9
(5) 個別援助活動の充実と市社協の基盤づくり .....	.....	10～12

この事業計画書は、第3次地域福祉活動計画（H29～H33）の進捗・評価の観点から、活動計画の推進項目と整合性を持たせた構成としました。

# 1. 基本方針

近年、日本は、人口減少と少子高齢化が進み、核家族化や単身世帯の増加、家族や地域の絆（つながり）の弱まりにより、高齢者、障害者あるいは生活困窮者や子育て中の親や子など、公的な福祉サービスだけでは対応しきれない生活課題を抱える方が増えております。また平成29年度からは介護保険制度改正による新総合事業への移行に伴い、生活課題を他人事としない地域での支えあい活動の推進が大きく取り上げられています。

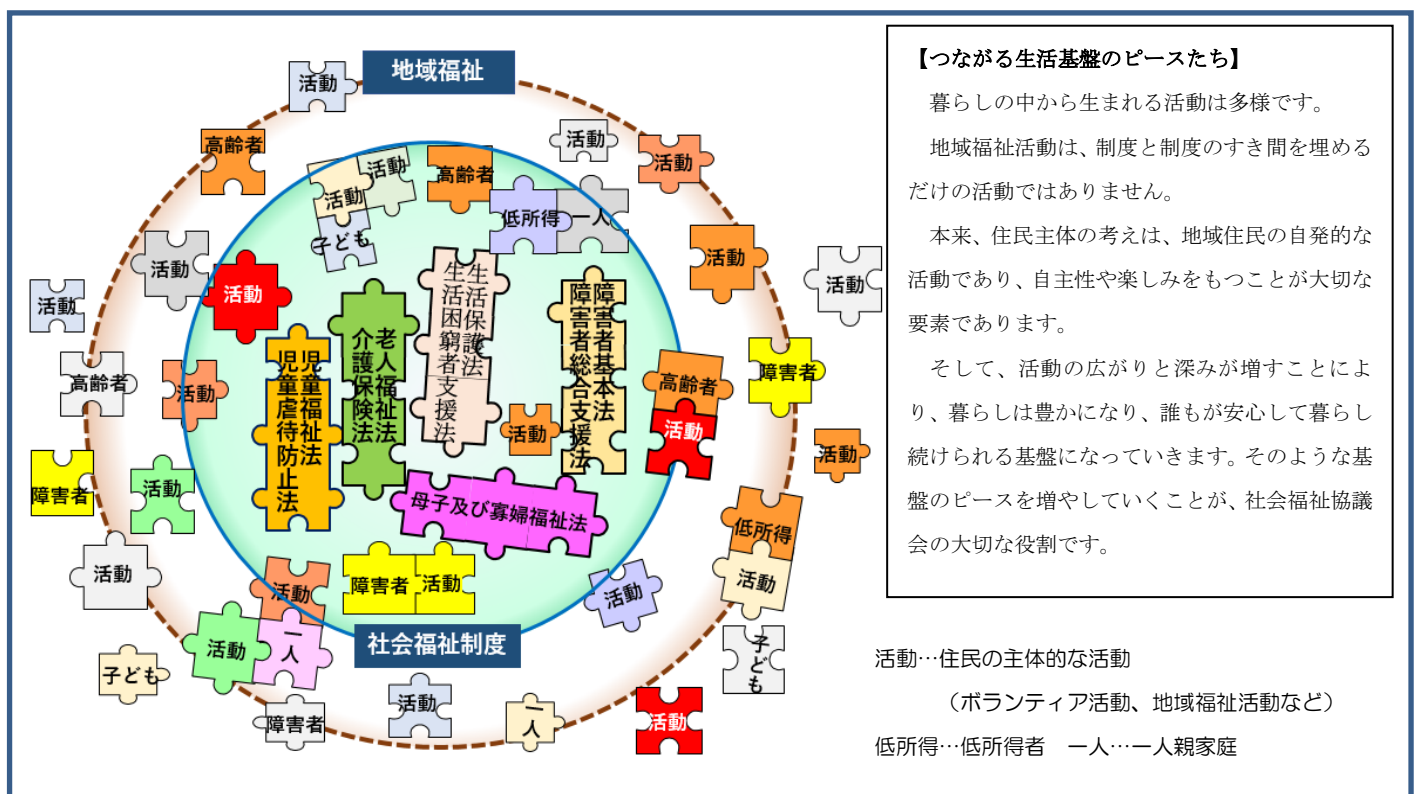
一方、草津市では、4年連続して住み良さランキング西日本1位の都市として、今後も人口の増加が続くことが推測されていますが、子育て世代の転入の多い小学校区では高齢化率が16%であるものの、市全体では平成28年度に21%を超えており、高齢化は着実に進行しています。また、全国的に6人に一人と言われる経済的に困窮する家庭の子どもも目立ち始めるなど、小学校区ごとに地域特性のある新たな生活課題や地域課題が出てきています。

このような中、平成29年度は、市社協の中期計画である第3次草津市地域福祉活動計画の新たなスタートの年度として、これら諸課題に対応する社協活動、地域福祉活動の推進を目指します。

また、中間支援組織としての機能を発揮し、課題解決に向けた住民主体の地域福祉活動のより一層の推進を図り、地域支えあい活動の取り組みの強化に努めます。

これらの活動にかかる財源である会費や寄付金、共同募金は年々微減傾向にありますことから、既存事業の経費見直しを行うとともに限られた財源を有効に活用して、真に必要な活動を実施し、住民主体の地域福祉推進の伴走者として市社協活動を展開します。

さらには、市社協・学区社協が今日まで取り組んできた社協活動の総合力の向上に努めるため、まちづくり協議会や各種団体・関係福祉機関、行政などとの連携を強化し、「こころ温かく支えあい 住みつづけたい 福祉のまち・くさつ」の実現に向け積極的な事業推進に努めます。



## 2. 重点事業

### 【1】地域福祉活動推進の支援（拡大）

中間支援組織の機能を発揮し、地域福祉コーディネートを活かし、住民が主体となって進める地域福祉活動の推進を支援します。

- 第3次市社協地域福祉活動計画に基づく活動を進めます。
- 平成27年度に指定した実践学区(大路、渋川)の継続支援を行います。  
(住民福祉活動計画の策定と計画に基づく活動を支援します)
- 市から生活支援体制整備事業を受託し、職員の増員を図り、地域支援活動を強化し、高齢者を地域で支える仕組みづくりを進めます。(職員2名の採用します)
- 医療福祉を考える会議等を通じて地域の支えあい活動を推進します。
- 学区担当職員を配置するとともに学区地域福祉懇談会を開催し、地域の課題を整理・共有し地域福祉活動推進を支援します。
- 頑張る学区を応援する「地域のふれあいの場づくり助成事業」を実施し、土壌づくり・人づくりを進めます。

### 【2】介護予防に視点をおいた地域サロン活動等の支援

在宅高齢者を身近な地域で支える地域サロン活動を支援します。

- 外出機会を増やす(メリハリ生活)地域サロン活動の支援として、「ロクハ荘」や「なごみの郷」を活用した「とく・得バスツアー」を継続実施します。
- 気軽な通いの場である地域サロンの立上支援を行うとともに、各サロンを巡回し、運営の支援に努めます。
- 地域サロン運営応援団を創設し、地域サロン活動の活性化に努めます。
- 介護予防に視点をおいた地域サロン活動のメニュー普及に努めます。

### 【3】ボランティア活動への参加者拡大支援

市ボランティアセンターの機能強化を図り、多くの市民がボランティア活動に参加する仕組みづくりに努めます。

- 求むボランティア、お手伝いボランティアの情報を収集し、センターのマッチング機能強化を図るとともに、住民や施設へ情報提供を行います。
- 個人ボランティアの育成に努めます。  
市社協登録の送迎ボランティア、傾聴ボランティアをはじめ、サロン交流会、とく・得バスツアーや災害ボランティアセンターの運営ボランティアなどの育成に努めます。
- 第6回ボランティアフェスティバルを開催し、福祉の風土をつくります。
- 小地域福祉活動の促進に関わり、地域の実情に合った助けあい、支え合いのボランティア活動を支援します。

### 【4】子育て支援や経済的に困窮する家庭の子ども支援

6人に一人と言われる経済的に困窮する家庭の子どもが市内でも増えています。未来を背負う子どもたちの育成のため、私たちのできる支援を行います。

- 食事を提供するなど子どもの居場所づくり活動を支援するため、食材の提供や運営資金の助成(共同募金助成)をします。
- 食材提供を進めるため、地域のみんなが応援するフードバンク事業を開始します。
- 頑張る学区を応援する地域のふれあいの場づくり助成事業を実施します。(再掲)

### 3. 事業計画

#### (1) 地域福祉活動の周知・啓発

見える社協、魅せる社協活動を目指して広報し、住民への啓発を行い、地域の福祉力アップを図ります。

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
広報紙「社協くさつ」発行	市社協事業、ボランティア活動や住民の福祉活動に着目した広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、福祉の風土づくりを進めます。 9月15日号のページを増やし、ボランティアセンターについての特集記事を作成し、ボランティアセンターの機能強化につなげます。	1,843 557	会費 共募
社協キャラクター「ふくちゃん」啓発	地域の各イベントへの着ぐるみ「ふくちゃん」の貸し出しやグッズの販売を積極的に行い、市社協事業の啓発につなげます。 ご寄附等をいただいた際のHP掲載用写真のバックパネルを作成します。	43	会費
市社協ホームページ運営	28年度のリニューアルから1年が経った中で、利用者の閲覧状況を把握し、より利用しやすいホームページを目指した改善を行います。 トピックスを随時更新し、市社協の活動について発信していきます。 ふれあいハウス絆、立ち寄りカフェゆかい家のページについて、各学区と協議しながら、住民に身近なホームページをめざします。	324	会費
社会福祉功労者等表彰式典	長年活躍されている地域福祉活動者やボランティア活動者の功績を称え表彰します。また、社会福祉の向上のため寄附された個人や団体に感謝の意を表します。	240	会費
近所力アップ講座	地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士の日頃からのつながりの大切さを伝え、住民のみなさまとともに地域福祉活動の大切さを語りあいます。	5	会費
社会を明るくする運動	地域住民の犯罪防止と更生保護に対する一層の理解を深めるため、関係機関・団体・学校と一体となって運動を展開します。	110	市受託

「広報くさつ」点字版作成・配布	視覚障害者への支援として、「広報くさつ」点字版の配付を希望される人に毎月1日号を点訳し配付します。	261	市受託
福祉を考える市民のつどい	福祉活動やボランティア活動を市民に広く啓発することで、活動を見せる場とし、市民が福祉について身近にふれられるようなきっかけづくりをします。	135 40	会費 市補助
「よみ～な！」の発行	ボランティア情報紙「よみ～な！」を発行し、ボランティアの活動紹介や情報の提供を行い、ボランティア意識の向上と参加の促進を図ります。	62	ボラ基金
【新規】 「心のこもった宝箱 ～ボランティアのすすめ～」 の発行	市社協登録ボランティア団体のこれまでの活動内容をふりかえった事例集を作成し、これまでボランティア活動をしたことの無い方々の興味や関心を高めるとともに、既に活動していただいている方々にはさらなる発展のための参考としてまいります。	44	ボラ基金

## (2) 地域福祉力の向上

地域福祉力の向上と地域福祉活動の発展のため、その基礎をなす人づくり、またその人を支援する体制をつくります。

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
福祉活動推進員育成 (市民コーディネーター育成)	地域福祉活動のリーダーの養成と育成を行い、地域福祉活動推進体制の強化をめざすため、「福祉活動推進員」の育成講座を開催します。市民の皆様がより受講しやすいよう、各地域に出向き講座を開催します。講座を修了された方については、学区社協において積極的に活動していただけるよう支援します。	265	市補助
福祉委員設置促進	学区社協との協働により「福祉委員の手引き」をもとに学習会などを開催し、福祉委員活動が活発に行われるよう支援します。	5	会費
介護予防サポーターポイント制度事業	元気な高齢者の社会参加といきがいつくりについて、市と連携しながら支援していきます。	4,191	市受託
地域サロン活動支援	高齢者の見守り活動の推進や、介護予防と自立を促進するため、サロン活動を行う者を育成するとともに、様々な相談に応じる地域サロン支援員を配置し、サロン活動の拡充をめざします。	9,844	市補助
地域サロン交流会	地域サロンの横のつながりをつくるため、意見交換や情報交換を行い、地域サロン活動の継続と活性化につなげます。	43	市補助
とく・得バスツアー	中間支援組織間の連携事業として、「ロクハ荘」「なごみの郷」を活用したバスツアーを実施し、外出機会を増やす支援を行い、地域サロン活動の充実と活性化を図ります。	253 325	市補助 ボラ基金

地域支え合い運送支援	学区社協やまちづくり協議会が実施する移動困難者の運送支援事業を支援し、住民が主体的に取り組む支え合い活動が広がるよう支援していきます。	2,174	市補助
福祉車両貸出	外出が困難な高齢者や障害者のため、福祉車両を貸出します。また、必要に応じて送迎ボランティアとの受給調整も行います。 送迎ボランティアに安全講習を行い、安全運転の周知に努めます。	1,199	会費
高齢者への電話訪問	民生委員・児童委員と連携しながら、70歳以上のひとり暮らし高齢者や昼間独居高齢者に対し、傾聴ボランティアが電話訪問することで孤立・孤独を防ぎます。	112	善銀
共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)運動の推進	民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進します。	別途 (市共同募金委員会)	別途 (市共同募金委員会)
【新規】 地域のふれあいの場づくり助成	学区社協を対象に、すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らしつつけられるよう、新たな地域福祉活動の立ち上げ、そして既存の地域福祉活動の拡大・拡充を支援します。	300	ボラ基金
【新規】 草津フードバンクセンター設置	生活に困窮している世帯や住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、草津フードバンクセンターに集まった食糧を無償で提供し、地域福祉活動推進の一助とします。また、企業や個人にとっては、本事業への協力が社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという、善意の循環システムを構築します。	27	市補助
寝たきり・認知症予防助成	市老人クラブ連合会が実施する介護予防事業を支援します。	81	共募
障害児者介護者リフレッシュ支援	肢体不自由児者父母の会が中心となり実施する障害児者の家族の心身リフレッシュと介護者同士の交流・情報交換を支援します。	45	共募
知的障害者社会参加自立支援	草津手をつなぐ育成会が中心となり実施する共同作業所等で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動を支援します。	45	共募
視覚障害児者支援	草津点字グループあゆみ会に情報紙の点訳を依頼し、視覚障害者への情報提供を行います。	5	共募
中途視覚障害者支援	市視覚障害者協会が実施する外出歩行訓練や交流会事業等を支援します。	9	共募
いきいきふれあい大運動会助成	市心身障害児者連絡協議会が実施する「いきいきふれあい大運動会」事業を支援します。	45	共募
子ども福祉活動助成	市子ども会指導者連絡協議会が実施する「6年生リーダー養成講座」を支援します。	59	共募

福祉機器リサイクル (貸出事業)	不要になった福祉機器のリサイクルを促進するとともに、車いす等の福祉機器を6カ月を限度に貸出します。	112	市受託
---------------------	---	-----	-----

### (3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆をつむぐことができる地域を創ります。

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
移動ボランティアセンター	ボランティアの発掘、啓発を行うため、市民に近い場所にボランティアセンターを設置します。 各学区のイベント開催の情報を得た際には、移動ボランティアセンターを実施させてもらえるよう、こちらから働きかけていきます。 また、学区・市社協の広報紙や、ホームページで周知・啓発を行います。	10	ボラ基金
収集ボランティア啓発	福祉に役立つ身近なボランティア活動である収集ボランティアを広めるため、収集ボランティアのチラシ(裏紙に市社協封筒)を作成し、市民センターや図書館等に配架するほか、福祉教育やイベント時に配布します。 また、地域や学校等へ啓発パネルを貸出し、周知・啓発を行います。	32	ボラ基金
福祉教育の推進・ボランティア体験教室	ボランティア活動や地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室を行います。また、子どもたちの福祉への理解をすすめる、学びを支援するために、福祉学習機材の貸出やボランティア派遣を行います。	13	ボラ基金
ボランティアグループリスト作成	ボランティア・地域サロングループリストを作成し、ボランティア団体の紹介と活動場所の拡大、地域サロンへの参加者増による活動の活性化を図ります。	188	ボラ基金
ボランティアフェスティバル	若い世代がボランティア活動に参加するきっかけづくりや、活動者同士のつながりをつくることを目的として、子どもから高齢者までが楽しく交流できる第6回のフェスティバルを実施します。	574 361	会費 市補助
災害ボランティアセンター	災害時における効果的なボランティア活動を推進するため、昨年度制定したマニュアルを元に運営訓練を実施し、災害対応力の向上に努めます。 また、市をはじめ災害ボランティアセンター運営協議会構成団体との連携を平常時から深め、災害時の連携がスムーズになるよう努めます。	17 16	会費 市補助
市ボランティア連絡協議会助成	ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援します。	54	共募



ボランティア保険・ボランティア連協加入促進	ボランティア活動保険の加入やボランティア連絡協議会の加入を促進します。	70	ボラ基金
ボランティア団体活動助成	ボランティア活動の充実を図るため、ボランティアセンターに登録されたボランティアグループに活動助成を行います。	550	ボラ基金
ボランティア養成講座	ボランティア活動への理解を深め、活動への参加をすすめ、活動者の拡大を目的とした生活支援ボランティア養成（傾聴・送迎・個別支援）講座等を地域で開催します。 また、学区社協で開催されるボランティア講座の企画や、ボランティアグループ立ち上げまでを支援します。	50	ボラ基金
ふれあい基金活動助成	県社協のふれあい基金助成事業を活用し、ボランティア活動の充実を図ります。	500	県社協補助
【新規】 男性の活躍の場づくり	学区社協の担い手不足を市域でカバーするような地域活動者を育成・組織化することにより、地域での福祉活動を拡げます。 そして、参加が少ないと言われている定年退職後の男性が、地域の福祉活動で活躍できるきっかけづくりの場を提供します。	120 90	ボラ基金 市補助
【新規】 支え合い運送応援	新たな学区で地域支え合い運送支援事業が実施されるよう、地域のイベントへ出向き、事業の啓発、周知を図ります。	10	会費

#### (4) 住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり

- ①学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援
- ②小地域福祉活動における民生委員児童委員との連携
- ③ボランティアセンターの機能強化

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
学区社協会長会	学区社協会長どうしの情報交換や福祉のまちづくりを推進する会議を毎月1回開催し、また、各学区の特徴や学区社協の活動状況をまとめた学区社協便覧や、学区社協パネルを作成するなどして、学区社協活動を啓発・支援します。	571	会費
地域福祉活動助成	地域の支えあい活動を推進するため「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係者との交流」を進める学区社協を支援します。	3,850 1,050	共募 ボラ基金
地域福祉コーディネーターによる学区社協支援	学区担当制を敷き、学区社協とともに、各学区の地域課題を把握し、課題解決へ向けた地域福祉活動の推進を図ります。	26,520	市補助

地域福祉活動推進の 支援強化	第3次草津市地域福祉活動計画の初年度であり、策定委員会や作業部会、または学区社協懇談会等で話し合われた、今後の草津市での地域福祉の推進のあり方・市社協のさらなる事業展開などの進捗状況を確認します。 また、今年度も引き続きモデル指定学区に対して重点的に支援を行います。 さらに、医療福祉を考える会議において、学区社協によりそい、会議の持ち方等をともに考え支援を行い、行政や地域包括支援センターと連携し、連絡会議の開催により、会議のあり方や方向性を確認します。	309 308	会費 市補助
草津市民生委員児童委員 協議会事務局	事務局担当の職員を配置し、毎月1回、総務会、必要に応じ総務委員会を開催します。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が活発に機能するように支援します。 また、学区担当制による情報提供やアドバイスをを行い、個別援助活動が円滑にできるよう民生委員児童委員活動を支援・協力します。	26,520	市補助
歳末たすけあい見舞金の 配付	市内の準要保護世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配布します。また、障害者福祉施設、団体等へ見舞金を配布します。 さらに、一時的に支援が必要な世帯には緊急的な支援として食糧を支給します。	6,500	共募
ボランティアセンターの運営 と機能強化	施設、保育所、デイサービス等へアンケートを実施しボランティア情報を集め、ボランティア活動の場の提供に努めます。また、需給ボードにてボランティア募集についての貼り出し、ホームページへのボランティア募集コーナーの設置、広報などで個人ボランティアの発掘を行い、ボランティアセンターのコーディネーター機能の強化につなげます。 さらに、近隣大学のボランティアセンターと連携を図り、音楽関係のクラブ等に働きかけ、地域へのボランティアとしてつなげます。	984	ボラ基金

## (5) 個別援助活動の充実と市社協の基盤づくり

- ① 地域福祉権利擁護事業の充実
- ② 心配ごと相談・貸付事業の充実
- ③ 行政・専門機関、福祉専門職との連携強化
- ④ 役員体制と事務局体制の強化
- ⑤ 地域福祉活動推進に要する財源確保

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
地域福祉権利擁護事業の推進	判断能力が充分でないため、毎日の暮らしのなかで福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実をめめます。 また、事業の周知啓発に努めるとともに、生活支援員のスキルアップのための研修会を開催します。	1,267 288 2,543	自主 市補助 県社協補助
心配ごと相談所開設と相談員連絡会の開催	住民の皆さんの身近な暮らしのなんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設します。また、市社協広報紙「社協くさつ」等で周知に努めます。 さらに相談員どうしの情報交換を目的とした連絡会を開催し、スキルアップのための研修会も実施します。	893 830	会費 市補助
生活つなぎ資金貸付	民生委員・児童委員と連携して、一時的に生活困難に陥った世帯に生活のつなぎとして資金を貸付し、健康で安心できる生活の維持と自立の助長を図ります。	2,635	善銀
生活福祉資金貸付	滋賀県社協の実施している生活福祉資金の貸付相談や手続きを行うための職員を配置し、生活福祉資金の貸付事業を実施します。また、民生委員児童委員が実施する生活福祉資金貸付者に対する償還指導についても支援していきます。	2,995	県受託
社会福祉推進連絡会議	草津市の地域福祉の充実に取り組むため、市の関係機関と情報や意見交換等を行います。	-	-
【新規】 生活支援体制整備事業 (地域支えあい推進員の配置と協議体の設置)	地域における包括的な支え合い活動を推進するため、多様な活動団体・事業者などが連携・協議し、様々な日常生活上の支援体制づくりを進めるとともに、高齢者の社会参加の推進を図ります。 この推進のため、職員の増員を図ります。	19,907	市受託
第三者委員会の設置	本協議会が実施する事業の信頼及び適正な事業実施を図るため、苦情解決の第三者委員会を設置します。	-	-
役員会の開催ならびに研修会の開催	法人運営の方針を決定する理事会を随時開催し、役員体制の強化および透明性のある組織運営を図ります。 また、役員・評議員等を対象に地域福祉研修会を実施します。	1,017	自主
職員研修、職員会議の開催	人権研修や地域福祉コーディネータースキルアップ	60	自主

	研修を実施します。また、毎月、事業の進捗状況を確認しつつ、草津市の地域福祉活動の展開や社会福祉の動向等を意見交換する場をつくり職員同士の連携を図ります。		
地球温暖化防止推進	省エネに取り組み、ゴーヤカーテンをつくり、エコ意識を高めるとともに、夏季の空調設備費用を抑えるなど、エコロジーとエコノミーの両立の取り組みを行います。また、ウォームビズへの取り組みに努めます。	6	自主

(単位：千円)

事業・項目	内容	収入予算	財源
市社協会費の拡大	福祉のまちづくりに参画する仕組みである社協会員制度の理解を広げる取り組みをすすめます。 このため、社協活動の見える化を図るとともに職員の地域支援力向上に努めます。 また、福祉団体や福祉施設についても加入を促進します。 ○一般会費・・・学区・区社協と連携し、世帯を単位にした社協への参画を促進します。 ○賛助会費・・・学区・区社協と連携し、企業を単位にした社協への参画を促進します。なお、賛助会費の内55%を学区社協へ助成します。	8,039	会費
「社協くさつ」「ホームページ」有料広告の拡大	広報紙「社協くさつ」およびホームページバナーへの広告掲載を募集し、財源確保に努めます。	330	自主
善意銀行事業	生活つなぎ資金の貸付原資や災害時におけるボランティア活動支援等のための財源として市民の善意の寄附金の募集に努め、有効に活用します。	600	善銀
入れ歯リサイクル	地域福祉活動の財源確保のために、不要になった入れ歯をリサイクルし収益を得ます。 また、広報などで周知・啓発を行います。	10	自主
法人一任寄付の活用	法人一任としていただいた寄付金を市社協運営費として活用します。	700	自主
ボランティア基金の運用、寄附金の募集	ボランティアセンターの運営ならびに多様なボランティアや地域福祉活動の振興に努めるための寄附金の募集に努めるとともに、基金を有効に運用し、財源の確保に努めます。	1,152	ボラ基金
赤十字事業の推進 (日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)	日本赤十字社の会費募集や赤十字活動の普及を図り、赤十字の活動を支える草津市赤十字奉仕団の活動を支援します。	別途	別途

社会福祉援助技術現場実習	社会福祉の専門家をめざす学生に、人材育成の一環として社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な実習の場を提供します。	28	自主
各種事業推進に係る関係機関との連携強化	貸付事業利用者や地域福祉権利擁護事業利用者など、暮らしに様々な困りごとを抱えた人たちを継続的に支援していくため、市くらしのサポートセンターや地域包括支援センター等の支援機関との連携強化を図ります。	-	-

### 3 次草津市地域福祉活動計画の体系図

